

第5回全体会議(7月2日)の意見・論点に基づいた検討事項

テーマに込められた思い、及び前提となる考え方の確認

■ 「地域コミュニティの形成・活性化」は、普遍・共通の課題

- ・ 「地域コミュニティ」という言葉は残したい。(板倉委員、橋本委員ほか)
- ・ マナーというキーワードで、一つ目のテーマとつなげることができそう。(仁上委員)

■ 「みんなで(多くの区民が共に) 取り組める形」を目指す

- ・ ごみ問題と同じで「みなさんが当事者」ということを伝えたい。
- ・ まちの環境変化が激しい今こそ、多くの住民を巻き込んで取り組みたい。(塚本委員)

■ 様々な立場の区民の相互理解を深める、マナーやモラルを育み、歩きやすいまちに

- ・ 自転車問題に絡めて、お互いに理解を深め、コミュニティを高めていける形を目指す。(萩原委員)
- ・ 自転車と歩行者、高齢者・若い世代・子育て世代など相対する立場の理解を促進する。そこから思いやりの気持ちを持つことが、まちをきれいにし、住みやすく、安全、安心なまちにつながっていく。(成田委員)
- ・ 世代間の交流も絡めながらマナーを取り上げる。マナーを守れば、みんなが安心して歩ける環境につながり、良い循環ができる。(中森委員)
- ・ 中原区に多い子育て世代と一緒にマナーを考えていく。(橋本委員)

1) 交通マナー 様々な立場から考え、みんなが歩きやすいまちへ

課題①：みんなが歩きやすいまちへ

- ・ 身体の不自由な人達への配慮の視点からの意識改革。(仲亀委員)
- ・ ベビーカーの利用マナーやトラブル。横並び通行など。(成田委員・仁上委員)
- ・ 車いすがとおりやすい通路などを調査し、マップを制作してはどうか。(板倉委員)
- ・ 歩くのが大変で自転車に乗っている高齢者に対する心遣い、マナーも必要だ。(橋本委員)
- ・ お互いどうやって譲り合っていくかに焦点。自分さえ良いという考えではいけない。(成田委員・萩原委員)
- ・ 外国籍市民に交通ルールやマナーを理解し、従ってもらう取組。(中森委員)
- ・ 歩行者のマナーも実は考えたいところだ(板倉委員)
- ・ 「ながらスマホ」の問題。歩きながら、自転車を運転しながら、ベビーカーを押しながら等(反町委員)

→どんな「当事者」をとりあげ、参加してもらうか・特に顕著な課題やその原因とは

課題②：自転車の通行マナーの向上

- ・ 地区の行事や PTA 活動で自転車マナーアップ教室(世代間交流も兼ねる)を設けてはどうか。(長尾委員)
- ・ 自転車に追突された上、「何をもたもた歩いてるんだ!」と言われて驚いた事例を聞いた。(仁上委員)
- ・ 自転車を運転しながらスマホを操作しているのをよく見かける。(橋本委員)
- ・ 子どもと一緒に自転車に乗せたまま信号無視をし、「お母さんだめでしょう」という子どもの声に、「大丈夫よ」と言っている母親を見たことがある。これではモラルやマナーはなかなか向上しない。(中森委員)

→中原区に多いマナー違反や特に問題となっている行為とは・誰にどんなマナーが必要か

2) 自転車に関するルール・交通安全

課題③：自転車交通ルールの周知・指導

- ・ 6月1日から自転車の交通ルールが厳格化し、違反者に切符が切られるようになった。(板倉委員)
- ・ 自転車の走行については、タイムリーで意見も多い課題だ。(仁上委員)
- ・ 自転車交通のマナー、ルールを守った走行、違反者に対する指導。(田中委員)
- ・ 運転ルールを知らなかったり、軽視しがちである。大人がルールを学ぶ場がない。(長尾委員)

→特に周知が必要なルール・周知や指導の主なターゲット・周知の方法について

課題④：自転車の交通事故や危険な運転の防止

- ・ 自転車交通事故を減らす。多発する自転車事故の防止。重大事故の防止（園部委員・田中委員・長尾委員）
- ・ 自転車利用について危険な場面が多く見られる。朝の通勤時間帯、保育園付近の交差点などは歩行者の間を子どもを乗せた自転車がすり抜けていくなどして、怖い。（成田委員）
- ・ 保育園送迎の自転車はかなり問題だ。走行スピードを出している。（板倉委員、橋本委員）
- ・ 県警が6月1日、2日の二日間、県内で発行した35件の内、中原区内でも数件あり。（事務局）
- ・ 中原区は交通事故全体に占める自転車交通事故の割合が、川崎区に次いで県内でも**ワースト2位**。（事務局）
- ・ タクシードライバーの方々は「中原は自転車の（走行）が危ない、怖い」と言っている。（萩原委員）

→区内で特に事故や危険が多く発生している場所や時間帯や、その理由・改善の方法

課題⑤：駐輪マナー・不法駐輪

- ・ 商店街などの駐輪マナーの改善が必要。（石川委員）
- ・ 「きれいなまちづくり活動アンケート調査」で課題として自転車駐輪マナーが多く挙げられた。（塚本委員）
- ・ 場所によっては、駅前の放置自転車が問題。（萩原委員）
- ・ 例えば、点字ブロックの上に自転車が駐輪していたりする。（仲亀委員）

→放置自転車や迷惑駐輪の多い場所、駐輪スペースの確保方法など

3) 交通環境整備

課題⑥：通行しやすい交通・道路環境づくり

- ・ 中原区は坂などが少なく、比較的自転車移動が楽な地域であることが特色だ。（成田委員）
- ・ 走行車線（自転車通行箇所）や駐輪場所の明示など。自転車の交通環境の改善。（園部委員・田中委員）
- ・ 自転車通行部分が、植栽でふさがれてしまっているケースもある。（仁上委員）

→通行しやすい環境・特に改善が急がれる箇所・お金をかけずに実施可能な方法など

4) その他（次回に向けて）

→知りたい情報（データ、事例、話を聞きたい関係者など）について

→具体的な取組提案のアイデア